

## ジンコソーラーは、「スマート製造」の実現を目指す

2019年1月3日、世界をリードする太陽光発電会社ジンコソーラー（NYSE：JKS）は初めてスマート工場を公開した。ジンコソーラーのスマート工場は先進な設備、ビッグデータ活用、人機協力、情報ネットワーク化製造、生産ラインの自動輸送及び未来の量産シミュレーションにより、GWレベルの工場のインテリジェント化運営を実現できた。

スマート製造とは、先端的な技術と解決策により、高い生産能力がある。先進的な製造のプロセスと品質データの分析によって、製品の品質と生産量、設備の信頼性を向上し、物流倉庫のプロセスを最適化する。スマートの本質は、製品の品質を向上し、製品の安定性を高め、同時にコストと時間をコントロールし、お客様の需要を満足させる。

ジンコソーラーのスマート工場のシステムはプロセス制御システム（SFC）、生産実行システム（MES）、資源計画システム（ERP）を構築する。これにより、ファクトリーの自動輸送システムを実現する。それ以外、ジンコソーラーは工場敷地内で部品の自動輸送を計画している。スマート工場はハードウェアとデータのアップグレードだけでなく、更にプロの職人精神と完全なフローシステムに依存する必要がある。

目前、太陽光発電企業はスマート製造への転換を加速している。業界のリードする企業として、ジンコソーラーはスマート設備と情報ネットワーク化製造の革新を通じて、スマート製造業の転換をリードし、業界に重要なマイルストーンを打ち立てた。未来、カスタマイズ化と高品質の製品の需要を満足するために、ジンコソーラーはもっと多いの持続可能、デジタル化、環境保護など特徴を備える工場を立てる予定で、その時、世界各地の生産基地に相互接続し、設備や生産ラインの遠隔制御を実現する可能性がある。



## ジンコソーラー (JinkoSolar Holding Co., Ltd.) について

ジンコソーラー (NYSE: JKS) は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦 (UAE)、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国・地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売。ジンコソーラーは 2017 年 3 月 31 日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで 5GW、太陽電池で 4GW、太陽光発電モジュールで 6.5GW の年間総発電容量がある。

ジンコソーラーは中国 (5)、マレーシア、ポルトガル、南アフリカに 8 つの生産施設、中国 (2)、イギリス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、アラブ首長国連邦は、ヨルダン、サウジアラビア、クウェート、エジプト、モロッコ、ガーナ、ケニア、コスタリカ、コロンビア、ブラジルとメキシコに 18 の世界販売オフィス、日本 (2)、シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリアや南アフリカに 15 の海外子会社を持ち、従業員計 1 万 5000 人以上を雇用しております。

〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目 2 番 1 号京橋エドグラン 9 階

代表電話 : 03-6262-6009

FAX : 03-6262-3339

ホームページ : <http://www.jinkosolar.com/index.html?lan=jp>